

接続位置誤りに関する自主点検結果と再発防止対策等について

1. 自主点検結果

自主点検の結果、350件の接続位置誤りを確認いたしました。

契約種別	点検件数	接続位置誤り件数
時間帯別電灯 (ﾄﾘｰﾑ8、ﾄﾘｰﾑ8Iコ、eﾀｲﾑ3)	2,354 件	196 件
深夜電力 (B、C、D)	110 件	14 件
融雪用電力 (A、B、C、D、L)	1,833 件	140 件
合 計	4,297 件	350 件

深夜電力Aについては定額制であるため、今回の対象には含まれない。

2. 発生原因

新增設工事の際に発生したものであり、当社の電気使用申込み受付および竣工検査などにおける「チェック不備」および電気工事会社の「接続位置誤り施工」によるものと判断しております。

3. 再発防止対策

【当社社員向け】

- 計器関係業務に従事する社員に対し、計器・タイムスイッチ・電磁開閉器の確実な接続位置の確認について、再教育・指導を徹底いたします。
- 電気使用申込み受付時に、電気工事会社へ計器・タイムスイッチ・電磁開閉器の正しい位置関係を確認する接続位置チェック票を配付し、接続位置を確実に確認するよう指導いたします。
- 竣工検査時に電気工事会社から提出された接続位置チェック票により、配線および接続位置を現地確認するとともに、タイムスイッチを「OFF」とした時、計器電圧端子が無電圧であることを検査員自ら確認する新たな仕組みを設けます。

【電気工事会社向け】

- 電気工事会社に対し、計器・タイムスイッチ・電磁開閉器の確実な接続位置の確認について、再教育・指導を徹底いたします。
- 工事施工後、当社が配付したチェック票により配線および接続位置を確認し、竣工検査申込み時に提出していただくとともに、タイムスイッチを「OFF」とした時、計器電圧端子が無電圧であることを自主検査として確認する新たな仕組みを設けます。

以上